



本体拡散タイプ



本体側面遮光タイプ

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、
販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

●ランプは器具表示のものを使用する

間違った種類、ワット数のランプを
使用すると、火災のおそれがあります。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



禁止

●アルカリ系洗剤は使用しない

守らないと、強度低下により破損し、
落下するおそれがあります。



注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。 設置して10年経つと、外観に異常が なくても内部の劣化は進行しています。 点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき 自主点検してください。

●ランプ交換、お手入れの際は、 電源を切る

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

●本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する

本体の取り外しには資格が必要です。



接触禁止

●点灯中や消灯直後はランプや その周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れやランプ交換は電源を切り、
ランプやその周辺が冷めてから行ってください。



禁止

●器具に直射日光が当たる状態で点灯させない

温度上昇による器具の短寿命や一時的な
明るさ低下・不点灯の原因となります。

●カバーの着脱時に無理な力を加えない

カバーは経年劣化により強度が低下します。
着脱時に破損し、けがの原因となることがあります。
かたい場合は、手袋などの保護具を使用するか
電器店にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・補強のない場所
(ベニヤ板や
石膏ボードなど)
- ・取付面が本体
パッキンより
小さい場所
- ・業務用浴場、
サウナルームなど
高温・高湿な場所



禁止



◎この器具は天井面・壁面取付兼用・一般住宅用
防湿防雨型です。

●取付面と本体パッキンのスキマおよび パッキン外周部にシーラントを塗る



取付面と本体パッキンとのスキマを防水シーラ
ントなどで埋めてください。防水が不完全な場合、
火災、感電のおそれがあります。

◎屋外で壁面取付する場合、シーラントが本体の
水抜き穴をふさがないようにしてください。
守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に
取り付けに不備があると火災、感電、落下に
よるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電の
おそれがあります。

●器具表示の指定方向に取り付ける

指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、
落下によるけがのおそれがあります。

●屋外で壁面取付する場合のみ、 説明書に従って、水抜き穴を開ける

守らないと浸水による火災、感電のおそれ
があります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで 確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災、感電のおそれがあります。

●カバーは確実に取り付ける

締め付けが不完全な場合、落下によるけがや
浸水による感電のおそれがあります。

●接地工事は、電気設備の技術基準に 従って確実に 行う

接地不完全な場合、感電のおそれがあります。



必ず守る



アース線
接続

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、 一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

◎調光器の取り外しが必要
です。



必ず守る

注意



禁止

●温度の高温なものの上に 取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎ガス機器や排気筒の上に
取り付けないでください。



必ず守る

●器具の取り付け取り外しは手袋など 保護具を使用する

けがのおそれがあります。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

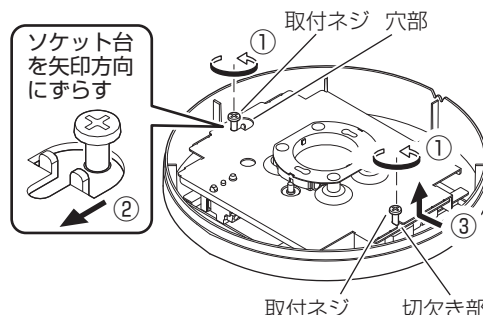
●器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

施工前のご確認事項

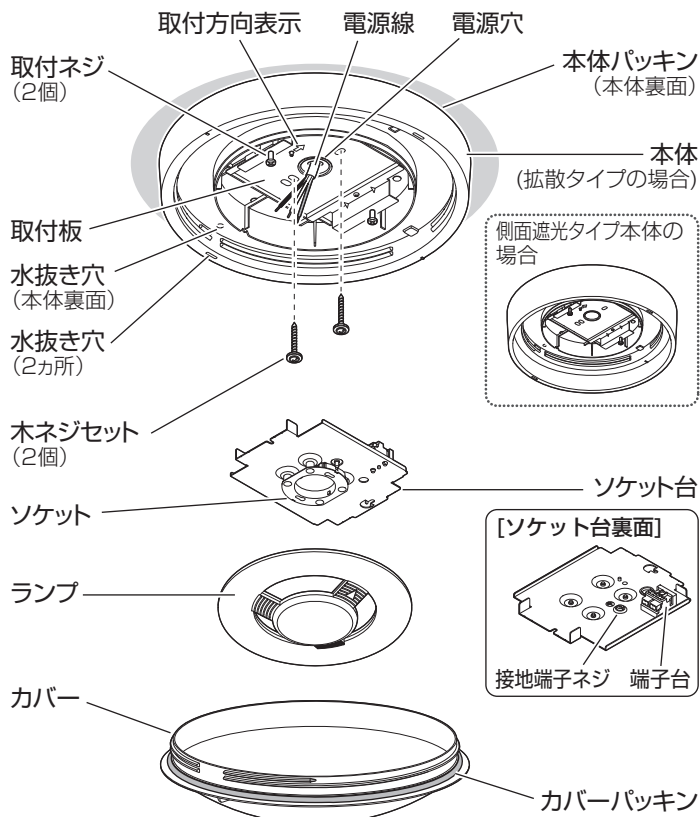
- ・必ず壁スイッチを設けてください。
点灯消灯させたり、ランプ交換やお手入れの
際に電源を切ることができます。
- ・ほたるスイッチと接続する場合は器具1台に
つきスイッチ3個まででご利用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、
スイッチを切にしても器具が消灯しない
ことがあります。)

取り付け前のご準備

- ・本体からソケット台を取り外す。
- ①ソケット台を固定している
取付ネジ(2カ所)を緩める。
- ②ソケット台をずらし、
取付ネジから取付板の穴部
を外す。
- ③取付ネジから
ソケット台の切欠き部を外す。



各部のなまえ

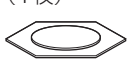


付属部品

□ 木ネジセット (2個)
ご使用前に木ネジの根元まで、平ワッシャ・木ネジパッキンを押し下げてください。

木ネジ
木ネジパッキン
平ワッシャ

□ 防虫シール (水抜き穴用) (1枚)

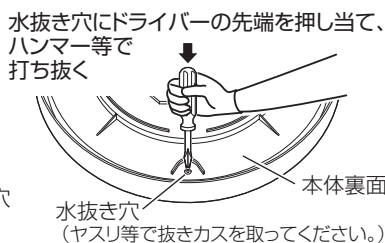


取り付けかた

1 屋外で壁面取付の場合、水抜き穴を開ける

・屋外で器具を壁面取付する場合のみ、本体裏面から水抜き穴を開けてください。屋内取付、屋外の天井や傾斜天井取付の場合は、水抜き穴を開けないでください。

・穴開け後、本体の内側から水抜き穴に、付属の防虫シールを貼り付けてください。



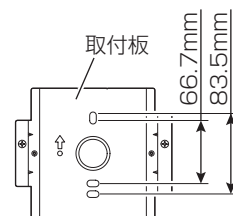
警告



屋外で壁面取付する場合のみ、説明書に従って、水抜き穴を開ける守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。

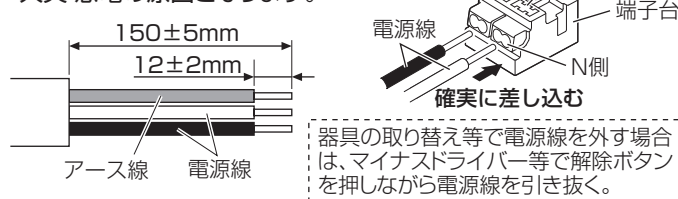
2 付属の木ネジセット (2個) で 本体を取り付ける

- ・壁面・傾斜天井面に取り付ける場合、取付方向表示に従って取り付けてください。
- ・本体の電源穴に電源線を通し、木ネジセットを確実に締め付けてください。
- ・取付ピッチ：66.7mm、83.5mm



3 端子台に電源線を接続する

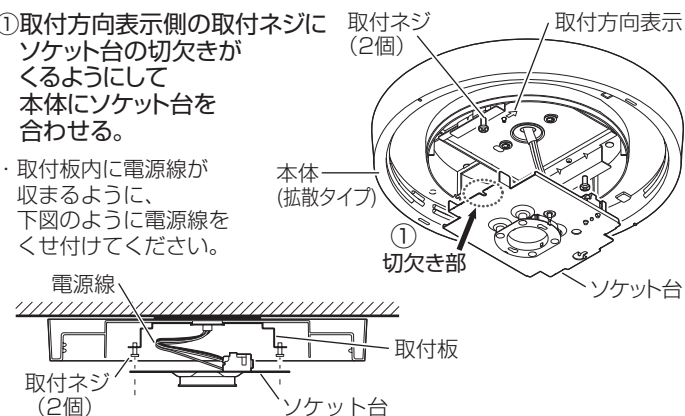
- ・適合電線：VVFφ1.6、φ2.0単線
 - ・接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。
 - ・送り総容量は4A以下です。(送り機能付)
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。



4 本体にソケット台を取り付ける

- ① 取付方向表示側の取付ネジにソケット台の切欠きがくるようにして本体にソケット台を合わせる。

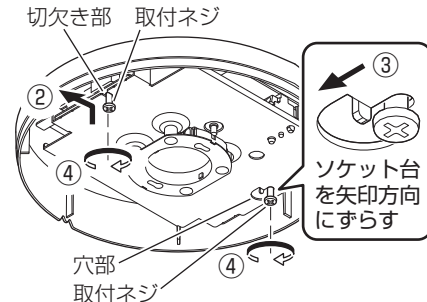
・取付板内に電源線が収まるように、下図のように電源線をくせ付けてください。



- ② ソケット台の切欠きを取付ネジに差し込む。

- ③ ソケット台の穴部に取付ネジを通し、ソケット台をずらす。

- ④ 電源線が噛み込まれていないことを確認しながら、取付ネジ (2カ所) を締め付ける。



5 ソケットにランプを取り付ける

次ページ「ランプの交換方法」手順 3 参照

6 本体にカバーを取り付ける

次ページ「ランプの交換方法」手順 4 参照

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的 (6カ月に1回程度) に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

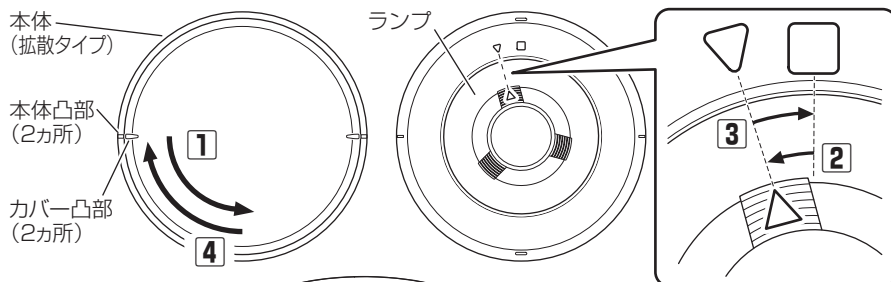
確認

シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤などでふいたり、殺虫剤をかけたらないでください。変色、破損の原因となります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- ランプの種類は器具に表示しています。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。電球形蛍光灯は使用できません。
- パナソニック製ランプをおすすめします。おすすめ以外のものを使用された場合、保証の対象外となります。



ランプの交換方法

1 カバーを取り外す

- ・カバー凸部(2カ所)に指を掛けて、カバーを左に回して取り外す(約1周半)

2 ランプを取り外す

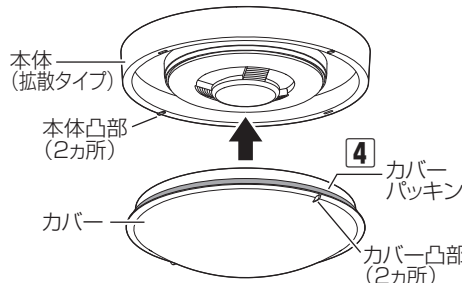
- ・ランプと本体の△印を合わせてランプを取り外す

3 ランプを取り付ける

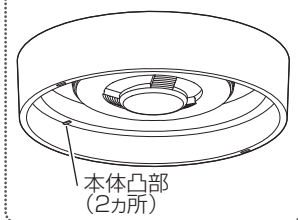
- ・ランプと本体の△印を合わせて挿入し、□印まで回す

4 カバーを取り付ける

- ・カバーにカバーパッキンが取り付けられていることを確認し、カバーを右に回して確実に締め付ける



側面遮光タイプ本体の場合



警告



カバー凸部(2カ所)に指を掛けて、本体凸部(2カ所)に合うまでカバーを右に回す(約1周半)締め付け後、ガタツキの無いことを確認する
守らないと浸水、落下のおそれがあります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

- ☒ 器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番			使用電圧 周波数	消費電力 入力電流	付属ランプ	使用環境
拡散タイプ(オフブラック)	拡散タイプ(ホワイト)	側面遮光タイプ				
☐ LGW51704BCF1	☐ LGW51704WCF1	☐ LGW51707YCF1	AC100V 50/60Hz共用	10.7W 0.17A	LLD6300NCF1 (昼白色)	屋外用
☐ LGW51705BCF1	☐ LGW51705WCF1	☐ LGW51708YCF1			LLD6300VCF1 (温白色)	
☐ LGW51706BCF1	☐ LGW51706WCF1	☐ LGW51709YCF1			LLD6300LCF1 (電球色)	
☐ LGW51714BCF1	☐ LGW51714WCF1	☐ LGW51717YCF1	AC100V 50/60Hz共用	7.8W 0.13A	LLD4300NCF1 (昼白色)	屋外用
☐ LGW51715BCF1	☐ LGW51715WCF1	☐ LGW51718YCF1			LLD4300VCF1 (温白色)	
☐ LGW51716BCF1	☐ LGW51716WCF1	☐ LGW51719YCF1			LLD4300LCF1 (電球色)	

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () ー

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名 住宅用照明器具

●品番 上記「仕様」をご参照ください。

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2019

LGW51704WCF1-T3A

N0419-00